

### Ⅲ 課題別普及活動計画

#### 1 地域課題一覧

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
1	○持続する 地域農業の 推進	<p>農産物の安定生産 特別栽培「ゆめぴりか」の 高品質安定生産 ・収量600kg/10aかつ蛋白質 含有率6.8%以下出荷戸数 (0→2→5戸)</p> <p>水稻省力化栽培技術の導入 ・乾田直播栽培導入農家戸 数： (0→0→1戸)</p> <p>葉菜類の栽培管理の改善 ・こまつなの栽培改善実施 戸数 (0→2→3戸)</p> <p>地域の担い手の育成 担い手の水稻栽培技術向上 ・栽培講習会出席農家戸数 (0→1→4戸)</p> <p>担い手の野菜栽培技術向上 ・栽培管理の習熟度75%達 成農家戸数(0→0→2戸)</p>	旭川市	<p>特別栽培 米生産農 家 (9戸)</p> <p>水稻栽培 農家 (10戸)</p> <p>こまつな 栽培農家 (3戸)</p> <p>水稻栽培 農家 (10戸)</p> <p>野菜栽培 農家 (3戸)</p>	金ヶ崎係長 渡邊専普 小板専普 平山専普 竹元普指	R3～R7	23
2	新規作物の 導入による 法人経営の 安定化	<p>もち麦の安定生産 ・目標収量(240kg/10a)達成 構成員戸数(1→3戸)</p> <p>もち麦の高付加価値化による 販路拡大 ・新規販路(1→3販路)</p>	旭川市	永山地区 新規転作 作物導入 農業法人 (1法人： 構成員5 戸)	金ヶ崎係長 渡邊専普 小板専普 平山専普 竹元普指	R4～R6	23
3	さつまいも の地域への 定着	<p>さつまいもの収量性向上 ・目標収量(2,000kg/10a) 達成戸数(0→9戸)</p> <p>さつまいも消費拡大に向け たPR活動の取り組み ・PR活動実施回数 (0→1回)</p>	旭川市	JAあさひ かわ さつまい も部会 (9戸) 女性部食 育活動グ ループ (4名)	金ヶ崎係長 渡邊専普 小板専普 平山専普 竹元普指	R5～R6	23

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
4	○生産性の向上による 集落営農の 発展	営農技術改善による収量・品質の向上 ・秋まき小麦の収量向上 (10a当たり収量 447kg→378kg→540kg) ・業務用米の施肥改善 (10a当たり収量 676kg→786kg→780kg以上) ・直播栽培の除草体系の改善 (実施面積0 a→67 a→100 a) 担い手の栽培技術向上 ・適期管理技術の習得 (作業記録アプリの活用件数 0件→0件→4件)	旭川市 東旭川 町	日の出地 域 (7戸)	星 係長 太田普職 大原普職 吉川主査	R3～R7	27
5	転作田にお ける新規作 物の安定生 産	・飼料用子実トウモロコシ の適正は種(栽植密度8,000 ～10,000本/m <sup>2</sup> ) (3→6戸) ・新規作物導入による輪作 の確立(2→5戸)	旭川市 東旭川	J A 東旭 川畑作協 議会飼料 用子実ト ウモロコ シ作付者 (6戸)	吉川主査	R5～R7	27
6	水稲直播栽 培技術の向 上	苗立本数確保による収量向 上 ・苗立本数170本/m <sup>2</sup> 以上 (4→7→10戸)	旭川市 西神楽	西神楽水 稲直播部 会 (10戸)	大原普職 星 係長	R3～R5	27
7	ミニトマト の栽培技術 の向上	栽培管理技術改善による収 量向上 ・1本仕立て(10a当たり収量 3,745kg→4,000kg) ・2本仕立て(10a当たり収量 4,745kg→5,000kg)	旭川市 東旭川町	ミニトマ ト栽培農 家(2戸)  ※自己課題 対象農家	太田普職	R5～R6	27
8	水稲高密度 播種栽培技 術の定着	高密度播種栽培実施農家の 栽培技術向上に向けた支援 ・初期茎数(6/20頃) 300本以上/m <sup>2</sup> (0戸→3戸)	鷹栖町 旭川市 (東鷹栖)	高密度播 種栽培導 入農業者 (5戸)	渡部係長 吉田普指	R4～	35

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
9	○労働生産性の高い中山間地域農業の実現	省力化技術の導入と拡大 ・高密度は種の技術定着と安定 (地域慣行育苗様式収量確保の農家数 0戸→1戸→2戸) ・スマート農業導入に向けた啓発 (スマート農業への意識変化農家戸数 0戸→0戸→5戸) 転作作物の導入と栽培改善 ・畑作物の安定栽培 (基本的栽培技術の実施評価点数60点 0戸→0戸→5戸)	鷹栖町	鷹栖町北斗地区 (11戸)	渡部係長 吉田専主 柴村専普 吉田普指	R3～R7	35
10	きゅうり新規栽培農家の技術力向上	新規作付農家の栽培安定に向けた栽培管理指導 ・適正な栽培技術実施率 R5年度就農者(1戸) ( 0 → 80% ) ・所得目標到達率 R2～4年度就農者(7戸) ( 80% → 90% )	鷹栖町	あったかファーム 卒業生 (8戸)	吉田専主 柴村専普	R4～	35
11	○新たな栽培技術を活用した持続可能な農業経営の確立	省力化技術導入による労働軽減 ・水稻の省力化技術の導入実施 省力化技術導入面積 (0 a →1,595 a →4,270 a)  若手・女性農業者のスキルアップ ・水稻栽培・施設野菜栽培の技術習得 個別課題の習熟度70%達成人数(開始年0人→ 現況0人→目標3人)	当麻町	当麻町緑郷1-1区、 1-2区 (8戸)	白井係長 小柴主査 草野主査 桂川専主 野原専普 井村専普 水尾普指 道畑普職	R3～R7	57
12	園芸品目の適正な土壌病害対策技術の定着	園芸品目における土壌病害の拡大防止及び防除対策の定着 ・まん延防止対策5項目以上実施戸数 (現状0戸→目標6戸)	当麻町	当麻町そ菜研究会 土壌病害感染確認農業者 (9戸)	道畑普職 草野主査 白井係長	R5	57

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
13	よりクリーンな水稲栽培体系の確立	・特別栽培米のレベルアップに向けた支援 ・高度クリーン米栽培実証農業者 (現状0戸→目標2戸)	比布町	比布町特別栽培米部会員 (8戸)	水尾普指 小柴主査 白井係長	R5～R6	57
14	いちごの地域に適した栽培体系の再構築 (「ぴっぷいちご」再振興プロジェクト課題)	比布町における安定生産技術の確立 ・「ゆきララ」の適正苗の定植(現状0戸→目標1戸) 冬いちごの栽培体系確立 ・総出荷量の向上 (目標R4対比:120%)	比布町	「ゆきララ」栽培農家(3戸)  実証栽培法人 (1法人)	道畑普職 草野主査 小柴主査 白井係長	R4～R5	57
15	田畑輪換による輪作体系の検討	水田転作畑の土壌物理性の向上 ・水稲無代かき栽培後及び飼料用とうもろこし栽培後後の大豆栽培支援 (現状0→目標2事例)	愛別町	実証栽培法人 (2法人)	桂川専主 小柴主査 井村専普 野原専普 水尾専普 白井係長	R5	58
16	酪農経営の安定化	飼養管理の改善による生産性の向上 ・個体日乳量 (現状29.2kg→目標30.0kg)	上川町	酪農法人 (1法人)	野原専普 小柴主査	R5	58
17	秋まき小麦種子の安定生産	秋まき小麦種子の安定生産 ・全筆合格 (現状18戸→目標19戸)	上富良野町	秋まき小麦種子培農家 (19戸)	南 専主 佐藤係長	R5	73
18	○次世代へつなぐ足腰の強い農業技術の基盤づくり	主要作物の安定的な収量・品質の確保 ・省力化・コスト低減技術の検証と活用 省力化・コスト低減技術の実践面積 (6.8ha→6.8ha→7.7ha) ・畑作物の安定生産 ゆめちからの施肥改善 (0戸→0戸→1戸)  経営管理能力の向上による経営力の強化 ・経営改善プランの作成・実践 (0戸→0戸→2戸)	中富良野町	旭中北三地区 (6戸)	佐藤係長 南 専主 重盛専普 今村普指 佐藤普指 新村普職 狩野支所長	R3～R7	73

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
19	新規就農者の農業技術習得 (中富良野町産業担い手サポート事業)	基礎的な農業技術習得 ・プロジェクト活動、アグリメッセージ発表人数(0→7名)	中富良野町	新規就農者 (7名)	佐藤係長 南 専主 重盛専普 今村普指 佐藤普指 新村普職	R5	73
20	○迷わない営農で地域を拓く (水利施設等保全高度化事業畑地帯総合整備事業(中山間地域型))	生産性の高いほ場づくりの推進 ・改善方向性の確認 (改善技術実施戸数 0→0→11戸)  営農ビジョンの検証と実践 ・営農シミュレーション実施と問題点の抽出 (実施戸数0→2→5戸)  家族内技術力平準化 ・研修会などでの習得 技術の家族内共有(習得技術共有率(男性→女性)0→0→50%) 個別農家の技術懸案事項の解消 ・秋まき小麦栽培基本技術実施率 (提案基本技術実施率 0→0→80%)	富良野市	老節布北進 (11戸)	桂川係長 田村主査 木村専主 佐藤専職 石井普職 坂原普職	R3～ R7	89
21	新規就農予定者の技術習得	独立自営就農(5年目)に向けた技術支援 ・令和5年度の独立自営就農者数(0→1組)	富良野市	富良野市担い手育成機構の新規参入コース研修生(2～4年目) (1組)	桂川係長 石井普職	R5	89
22	食害対策のための草地生産性および被害の評価方法確立支援	地域の採草地における実収穫量の把握  ・実収量把握草地 (0→2ほ場)	占冠村	占冠村肉牛振興会 (8戸)	田村主査 桂川係長	R5	89
23	若手女性農業者の育成	課題解決能力の向上支援 ・講習内容の活用者数 (6→8名)	地区一円	たいせつ農業さくら塾生 (8名)	小笠原専主 大沼係長 佐藤専主 京極普指 井口普職	R4～R5	99

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
24	トマト新規参入者の定着支援	トマト新規参入者の栽培管理技術の適正化 ・適正な栽培管理技術の習得(0名→2名)	美瑛町	就農3年以内のトマト新規参入者(6戸)	田中専普 岡元係長	R5~R6	99
25	〇びえい農業SDGsへの挑戦	永続的な畑地利用の実践 ・経営条件を踏まえた輪作体系の再構築 (小麦連作率5%低下 0戸→0戸→3戸) ・持続的営農活動のための経営課題解決 (個別課題取り組み農業者 0戸→6戸→6戸) 次世代を担う農業者の経営管理能力育成 ・経営分析結果に基づいた経営改善計画の検討 (経営改善方策の試行 0戸→0戸→2戸)	美瑛町	赤羽地域(10戸)	岡元係長 佐藤専主 田中専普 井口普職	R3~R7	99
26	秋まき小麦ほ場におけるイヌムギ除草対策の確立	イヌムギ除草対策の確立 ・除草剤の体系処理農家数(0戸→0戸→2戸)	東神楽町	イヌムギ発生農家(4戸)	大沼係長 堀田専普	R5~R7	111
27	〇水稻を核とした農業経営の安定化!	水稻の高品質米生産技術の確立 ・高品質米生産に向けた栽培技術の推進 (技術改善実施戸数 0戸→7戸→9戸) ・透排水性改善による乾田化の促進と稲わら処理の適正化 (透排水性改善実施農家数 0戸→0戸→2戸) 担い手の育成と交流の推進 ・後継者の基本技術習得に向けた支援 (水稻栽培研修会の学習技術実践農家数 0戸→0戸→4戸) ・新規雇用労働力の確保と農作業の効率向上(農作業マニュアル活用農家数 0戸→0戸→2戸)	東川町	主要水稻栽培農家(11戸)  後継者の研修会参加農家(5戸)  新規労働者雇用予定農家(6戸)	大沼係長 小笠原専主 堀田専普 京極普指 福屋支所長	R3~R7	111

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
28	第三者継承 就農者の技術継承・習得による生乳の安定生産	生乳生産量の維持 (営農計画対比100% 0→2戸)	士別市	北口牧場 第三者継承農場 (1戸)	林主査 千川係長	R5	125
			剣淵町	第三者継承農場 (1戸)	林主査 山口係長		
29	○持続的で収益性の高い温根別農業の確立	畑作物の安定生産 ・小麦の安定生産技術の確立 (莖数に応じた適正追肥 実践1→1→2戸) 地域を支える担い手の育成 ・若手農業者による作業受託組織設立支援 (作業受託組織設立 0→0→1件)	士別市	士別市 温根別町 北線地区 (8戸)	千川係長 植草専普 弓削田専普 林主査 植村支所長	R3~R7	125
30	新規参入者の技術習得	就農後の技術習得支援 ・各戸の技術的課題の習得 (目標達成数0→0→5事例)	士別市	士別市 新規参入者 (4名・1法人)	千川係長 弓削田専普 林主査	R5~R7	125
31	そばほ場の総合的雑草対策の推進	そば作付けほ場における雑草対策の推進 (化学的防除実施戸数 0→20%)	幌加内町	幌加内町 そば生産者(91戸)	千川係長 植草専普	R5~R7	125
32	○土地生産性を維持する持続可能な農業の確立	主要作物の生産性向上 ・水稻栽培の省力化 (0戸→1戸→3戸)  地域の将来構想確立 ・経営シミュレーションの実施(0戸→0戸→1戸) ・農地利用の将来構想共有(検討会) (0回→3回→3回)	剣淵町	剣淵町東町南地区 (25戸)	山口係長 立浪専普 川村普指 河野普職 植村支所長	R3~R7	137
33	特産野菜の生産性向上	かぼちゃ良食味品種の安定生産 ・高品位規格出荷割合の維持向上(61%→63%)	和寒町	品種「ブラックのジョー」栽培農家(15戸)	河野普職 立浪専普	R4~R6	137

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
34	かぼちゃ (早生品種) の安定生産	製品率の向上 病害発生状況に応じた防除 実施戸数 (一→4戸) ※R5は生産意欲の高い8戸を中心に活動	名寄市	「味早太」 作付け農 業者(28 戸)	嶋下主査 風間係長 山本普指	R4~R6	147
35	秋まき小麦 の安定確収	製品歩留の向上 生育量に合わせた窒素施肥 の実施 (7戸→11戸) ※R5は核となる11戸を中心に活動	名寄市	名寄市智 恵文地区 秋まき小 麦生産者 (37戸)	久保専普 小野普職	R4~R6	147
36	酪農経営の 生産性の向 上	生産乳量の向上 飼養管理改善実施戸数 (0戸→2戸)	名寄市	名寄市乳 検組合員 (8戸)	後藤主査 風間係長	R3~R5	147
37	高密度は種 栽培におけ る栽培管理 技術の向上	高密度は種栽培の定着に向 けた栽培管理技術の実践 適正な栽培管理技術の実践 戸数 高密短(0戸→2戸) 密播中苗(1戸→1戸)	名寄市	もち米省 力化研究 会 (5戸)	吉岡普指 風間係長	R3~R5	147
38	○持続可能 な経営体の 育成による 魅力あるゆ とり農業の 実現	収支計画に基づく農業経営 の実践 収支計画(農業所得)の達成 法人(一→121%→100%) 個人A(90%→107%→100%) 個人B(83%→143%→100%)  法人経営における作業体系 の確立 女性構成員・従業員の休日 取得日数 (一→78日/年→100日/年)  土壌改良による土づくりの 推進 有機物施用効果の確認 (0→1→3)	名寄市	名寄市智 恵文瑞和 地区 (1法人 ・2戸)	風間係長 久保専普 山本普指 吉岡普指 後藤主査 嶋下主査 小野普職 小泉支所長	R3~R7	147



課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
39	〇ライフステージに合わせた経営の構築	将来設計に基づいた農業経営の推進 ・軽労働化に向けた飼養管理作業の見直し (0戸→1戸・1法人) ・取組課題の定着 (0戸→0戸→3戸) ・地域農業維持に向けた検討(0回→0回→2回)	美深町	川西地区 (7戸1法人)	谷係長 真嶋主査 村上専主 長谷専主 尾崎普職 菊地支所長	R3~R7	169
40	フルーツマト栽培におけるICT機器の活用	新たなICT機器を活用した栽培技術の検討 ・新規ICT機器導入農家 (0戸→1戸)	下川町	新たなICT機器導入志向農家2戸	長谷専主 尾崎普職 谷係長	R5~R6	169
41	放牧志向グループ活動の活性化	グループ活動の活性化 ・研修会の開催(1→2回)	中川町	SOIL (7戸)	村上専主 谷係長	R5	169

## 2 広域推進事項一覧

業務区分	推進事項 (関連事業)	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
担い手	担い手及び農業組織の活動支援 ・地域農業を支える多様な人材への支援	管内 一円		岡元主査 若宮主普 金ヶ崎係長 桂川係長 大沼係長 山口係長 後藤主査 真嶋主査 (地域係全員)	R3 ～R7	176
	・管内における組織経営体と地域農業支援組織の育成・強化	管内 一円		岡元主査 辻主普 金ヶ崎係長 桂川係長 大沼係長 山口係長 後藤主査 真嶋主査 (地域係全員)		
情報・ クリーン・ 有機	技術情報の共有化の推進 ・情報の共有化と有効活用 ・効果的な情報発信	管内 一円		竹村主査 辻主普 渡部係長 桂川係長 岡元係長 千川係長 鴨下主査 村上専主 (地域係全員)	R3 ～R7	180
	環境保全型農業の推進 ・安全・安心な 農畜産物生産の推進 ・有機農業生産者のネットワークによる有機農業の普及 推進	管内 一円		竹村主査 辻主普 小柴主査 佐藤係長 南 専主 岡元係長 千川係長 鴨下主査 長谷専主 (地域係全員)		
高付加 価値化	地域の特徴を活かした高付加価値化の推進 ・高付加価値化に関する情報収集 ・情報を活かした高付加価値化への支援	管内 一円		松田主査 若宮主普 桂川専主 田村主査 小笠原専主 山口係長 風間係長 長谷専主 (地域係全員)	R3 ～R7	184

